

2011年 3月 30日

各 位

株式会社 ジェイ・エム・エス  
代表取締役社長 谷光 大  
(コード番号7702 東証第1部)

## 新発売 持続緩徐式血液濾過器「フロースター」

国内初<sup>\*1</sup> 持続緩徐式血液濾過器としてポリエーテルスルホン(PES)中空糸膜を採用  
優れた生体適合性と透水性能でより安全な治療に貢献

株式会社ジェイ・エム・エス(本社:広島市中区、社長:谷光大)は、透水性能が高く、生体適合性に優れた持続緩徐式血液濾過器「フロースター」(医療機器承認番号:22000BZX01650000)を開発し、2011年4月より販売開始いたします。

持続緩徐式血液濾過療法は、何らかの疾患や災害時等の傷害で生じる急性腎不全等で多用される血液浄化法の一つです。この療法は、血液の循環動態が悪く、一般的な血液透析及び血液濾過療法を行えない患者様に対して、より患者様の体への負担を少なくするため緩やかに時間を掛けて行われます。このため、この療法に使用される持続緩徐式血液濾過器には、長時間の使用においても安定した透水性能が必要とされ、また高い生体適合性が求められます。

「フロースター」は、タンパク質が付着しにくい「ポリエーテルスルホン(PES)中空糸膜」を国内で初めて採用し、長時間にわたる安定した透水性能の維持を実現しました。また、ドライタイプとすることで医療現場における取り扱いを容易にしました。

<sup>\*1</sup>当社調べ

### 【製品の特長】

- ① 生体適合性に優れたポリエーテルスルホン(PES)中空糸膜の採用と独自の膜構造により、長時間にわたる安定した透水性能を維持
- ② ドライタイプとすることで医療現場での取り扱いが容易
- ③ 膜面積0.4㎡から1.5㎡までの幅広いラインナップ



持続緩徐式血液濾過器  
「フロースター」

**【背景】**

本製品が使用される持続緩徐式血液濾過療法は、我が国における急性血液浄化の主力を成す療法であり、今後も需要の伸びが予想されています。

**【販売計画】**

販売開始時期 : 2011年 4月  
販売目標 : 360百万円（発売後 3年間合計の当社販売目標）  
総販売元 : JUNKEN MEDICAL 株式会社

**■JUNKEN MEDICAL 株式会社の概要**

所在地 : 東京都品川区東品川  
代表者 : 代表取締役社長 藤本 登志治  
設立 : 1967年 1月  
資本金 : 150百万円  
出資会社 : 日本ライフライン株式会社(100%)  
事業内容 : 医療機器の製造、輸入、販売

ジェイ・エム・エスは、これからも「感染・医療事故の防止」、「医療の効率化と患者様 QOL<sup>\*2</sup>の向上」を基本コンセプトに、一人ひとりの患者様をみつめ、医療従事者の皆様の立場にたって、安心・安全で品質の高い製品とサービスを提供し社会に貢献してまいります。

<sup>\*2</sup>QOL: Quality of Life (生活の質)

以上

(ご参考)

「血液浄化法とは」

腎臓の機能が低下すると、腎臓は血液中の老廃物や水分を十分に排泄できなくなり、人体に不必要な物質や有害物質が体内に蓄積します。これを人工的に除去する腎代替療法が血液浄化法です。

**本件に関する問い合わせ先**

東京本社 営業推進本部（担当 原・粟根）  
TEL 03-6404-0115 / FAX 03-6404-0613

本リリースに掲載されている販売予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、社会情勢の大きな変化などさまざまな潜在的リスクや不確実性が含まれております。当情報につきましては発行日時点のものであり将来的に変更される可能性のあることをご承知おき下さい。